

JAPAN EVANGELICAL THEOLOGICAL SOCIETY 2012 AUTUMN SEMINAR 日本福音主義神学会東部部会2012 | 秋期研究会

先の研究会では『震災とキリスト者』というテーマで震災に対する援助協力などの働きを社会学的視点から分析しました。この秋の研究会においては「原発とキリスト者」という切迫したテーマを取り上げます。被災者の言い知れない苦しみや取り扱いの難しい問題が山積している状況の中、ともすれば沈黙してしまいやすい私たちですが、こういうときこそ時代の破れ口に立ち、真実に、且つ果敢に「語る」、「神学する」ことが求められています。共に学び、研鑽のときを持ちましょう。来会を歓迎いたします。

日本福音主義神学会東部部会理事長 大坂太郎



関野祐二氏

1959年神奈川県生まれ。東京基督神学校卒。現在日本聖契キリスト教団・鶴見聖契キリスト教会牧師。聖契神学校校長。JEA神学委員。共著に「原理主義」（JEA神学委員会パンフレット6）、「札幌宣言」など。訳書に『ティンデル聖書注解・エゼキエル書』がある。

1958年神戸生まれ。1985年東京基督神学校卒業後、日本同盟基督教団・大泉聖書教会での奉仕を経て1994年より同教団の小海キリスト教会（長野県）に仕え現在に至る。自身のブログ「小海キリスト教会牧師所感」にて聖書翻訳から原発問題まで幅広く情報、所感を発信している。



水草修治氏

原発とキリスト者

11/12 (月)

お茶の水クリスチャンセンター416号室
13:30-17:00

この研究会に関するお問い合わせは—

■TEL/FAX 042(985)5444 (大坂)
■Email bethelchurch@nexyzbb.ne.jp

参加無料
(席上献金あり)